

南ア月報
(2021年12月)

【内政】

- 国家的災害事態の延長
- ラマポーザ大統領の新型コロナウイルス感染
- デ・クラーク元大統領を偲ぶ会の開催
- ズマ前大統領の医療仮釈放決定に係る判決
- ツツ元大主教の逝去
- 警戒レベル（「調整されたレベル1」）の規制内容の一部変更

【外政】

- ラマポーザ大統領の西アフリカ4カ国外遊

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- GDP成長率

<出来事>

- Fitchによる南ア格付けの見通しの引き上げ
- 12歳～17歳の子どもへの2回目のワクチン接種開始
- 南ア政府、ワクチン2,030,400回分をアフリカ諸国に寄贈する契約を締結
- 18歳以上へのワクチンのブースター接種開始

【警備】

- 南ア治安情勢（邦人に対する犯罪発生）

1 内政

●国家的災害事態の延長

10日、南ア政府は国家的災害事態 (the national state of disaster) の1ヵ月延長 (2022年1月15日まで) を発表した。

●ラマポーザ大統領の新型コロナウイルス感染

12日、南ア大統領府は、ラマポーザ大統領が新型コロナウイルスの検査において陽性反応が出た旨発表した。また、20日、大統領府は、同大統領が職務に復帰した旨発表した。

●デ・クラーク元大統領を偲ぶ会の開催

12日、デ・クラーク元大統領を偲ぶ会が南ア政府によって開催された。

●ズマ前大統領の医療仮釈放決定に係る判決

15日、プレトリアの高等裁判所は、矯正省におけるズマ前大統領の医療仮釈放決定について、違法であり、ズマ前大統領は再び収監されるべき旨の判決を下した。

●ツツ元大主教の逝去

26日、ツツ元大主教がケープタウンにて逝去した。享年90歳。

●警戒レベル (「調整されたレベル1」) の規制内容の一部変更

30日、南ア政府は、従前の警戒レベルである「調整されたレベル1」の規制内容について、夜間外出禁止令の解除等、一部変更する旨発表した。

2 外政

●ラマポーザ大統領の西アフリカ4カ国外遊

11月30日～12月7日、ラマポーザ大統領は、ナイジェリア、コートジボワール、ガーナ及びセネガルの4カ国を外遊し、パンドール国際関係・協力大臣はじめ複数の南ア閣僚も同行した。各訪問国において、様々な政府間覚書が署名された他に、二国間委員会の発足、二国間貿易と投資の促進に向けたフォーラム等が開催された。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価

2021年11月の年間消費者物価インフレーション率は5.5%で前月(5.0%)に比べ0.5%上昇した。消費者物価指数(CPI)は前月から0.5%上昇した。(南ア統計局、12月15日)

●為替レート

2021年12月31日付(南ア準備銀行)

7.2439 ランド/円

15.8899 ランド/米ドル

17.9794 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年10月の製造業は、前年同月比8.9%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で17.5%減。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で14.1%減。自動車及び輸送機器関連製品で13.4%減。

また過去3ヶ月（2021年8月～10月）の季節調節後生産高は2021年5月～7月の3ヶ月から0.9%増。製造業10部門中の5つの部門で生産高増となった。（南ア統計局、12月9日）

●鉱業生産高

2021年10月の鉱業生産高は、前年同月比2.1%増。主なプラス要因は、白金で24.0%増。クロム鉱石で28.7%増。鉄鉱石で11.5%増。他方で、主なマイナス要因は、石炭で9.9%減。

また過去3ヶ月（2021年8月～10月）の季節調節後生産高は2021年5月～7月の3ヶ月から0.1%増となった。（南ア統計局、12月9日）

●GDP成長率

南ア統計局は、2021年第3四半期（7月～9月）のGDP成長率を発表。前期（第2四半期）比マイナス1.5%となった。マイナス成長となったのは、2020年第2四半期以来の5四半期ぶり。（南ア統計局、12月7日）

<出来事>

●Fitchによる南ア格付けの見通しの引き上げ

12月15日、米格付け機関Fitchが、南ア格付け見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げ、格付けを「BB-」に据え置いた。「安定的」な見通しへの引き上げは、予想よりも早い景気回復、今年の堅調な財政パフォーマンス、GDPベースの主要な信用指標の大幅な改善を反映。

●12歳～17歳の子どもへの2回目のワクチン接種開始

12月9日、12歳から17歳への子どもへの2回目のワクチン接種が開始された（当館注：10月20日から開始されていた子どもへのワクチン接種はこれまで、ファイザー社製ワクチンを1回のみであった。）。

●南ア政府、ワクチン2,030,400回分をアフリカ諸国に寄贈する契約を締結

南ア政府は、アフリカ・ルネサンス・ファンド（ARF）を通じて、アフリカ・ワクチン調達トラスト（AVAT）との間で、ジョンソン・エンド・ジョンソン社製新型コロナウイルスワクチン2,030,400回分をアフリカ諸国に対して寄贈する契約を締結した。

●18歳以上へのワクチンのブースター接種開始

12月24日から、ジョンソン・エンド・ジョンソン社製ワクチンのブースター接種が開始された（初回接種から2か月以上経過した者）。また、12月28日から、ファイザー社製ワクチンのブースター接種が開始された（2回目の接種から6か月以上経過した者）。ブースター接種は、初回接種を受けた人に、同じ種類のワクチンを同量接種するもの。

4 警備

●南ア治安情勢（邦人に対する犯罪発生）

(1) 2日夜、邦人が、ヨハネスブルグ・イロボ地区の飲食店前路上にてUberの到着を待っていたところ、スマートフォンをひったくられる盗難被害にあった。スマートフォンを見える形で携行しないなどの安全対策が必要である。

また、Uberで呼んだ車両が到着した際に、自分が予約したUber車両であると主張する人物が現れ、アプリで予約内容を確認するよう仕向けスマートフォンをひったくる手口があることから、Uber車両到着時に見知らぬ人物に話しかけられた時は、スマートフォンを取り出さないなど所持品の保管に注意が必要である。

(2) 17日夕方、邦人2名が、ダーバン・グレイビル地区にて交通渋滞により停車中、4人組の男が車に近づいてき、車の窓ガラスを破壊、割れ窓からロックを解錠して後部座席に乗り込み、助手席足下にあった鞆を奪おうしたが邦人が防御、同時に別の男が運転席側からスマホを奪うという強盗（スマッシュアンドグラブ）被害にあった。邦人は、割れたガラス片で指をそれぞれ負傷（軽傷）。

車内の見えるところに物は置かない、スマッシュアンドグラブ対策フィルムを貼付する、信号や渋滞などで停車中は特に狙われやすいため周囲の警戒を怠らず、不審者が接近した場合に退避できるよう前の車両との車間距離を十分空けて停車するなどの対策が肝要である。

(3) いずれの犯罪においても、万が一被害に遭った場合抵抗せず、生命身体を守ることが最重要である。